

# PRsj

PUBLIC RELATIONS  
SOCIETY OF JAPAN

# NEWS

2022年10月号

NO. 344

## TOPICS

やさしさとは何か

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 副理事長 伊東 由理

MESSAGE P4

「PRアワードグランプリ 2022」エントリー受付中!

ATTENTION P5

「PRプランナー2次試験対策講座」を改訂

ATTENTION P7

「パブリックリレーションズ入門Web講座(秋期)」10月下旬開講

ATTENTION P8

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木6丁目2番31号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話(03)5413-6760 ファックス(03)5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島2-1-27 桜橋千代田ビル3F

電話(06)6344-3002 ファックス(06)6344-3005

発行人: 牧口 征弘

# 10月号目次

10月～11月のスケジュール	-----	2
MESSAGE(メッセージ) やさしさとは何か	-----	4
ATTENTION(お知らせ) 「PRアワードグランプリ 2022」エントリー受付中!	-----	5
// 「PRプランナー2次試験対策講座」を改訂	-----	7
// 「パブリックリレーションズ入門Web講座(秋期)」10月下旬開講	-----	8
BULLETIN(活動報告) 第40回広報ゼミ「ひとり広報」開催報告(会員限定)	-----	9
協会掲載記事 PRSJ in Media	-----	12
事務局だより 事務局スタッフの紹介	-----	13

# 10月～11月スケジュール

【オンライン】 PR業ワイガヤ会	日 時 : 10月12日(水)18:30～20:30 会 場 : Zoomを活用
【オンライン】They Talk Forum	日 時 : 10月25日(火)17:30～19:00 会 場 : Zoomを活用 テーマ : 「オッサンの壁」を越えていこう 講 師 : 毎日新聞 論説委員佐藤千矢子氏
第27回 広報活動研究会	日 時 : 11月9日(水)15:00～17:20 会 場 : 「JERA 川崎火力発電所」訪問
第48回 PRスキル研究会	日 時 : 11月9日(水)18:00～ 会 場 : Zoom ウェビナーを活用 テーマ : ヤングカンヌ日本代表と審査員から学ぶ受賞のポイント&公開フィードバック(仮)
【オンライン】 パブリックリレーションズ入門 Web 講座(秋期)	日 時 : 10月下旬開講予定 講 師 : エバラ食品工業(株) 執行役員 コミュニケーション本部長 上岡典彦氏を含む10名
【オンライン】 インターナル・コミュニケーション講座	日 時 : 10月下旬開講予定 テーマ : 「フラット」な社風が生んだユニークな「インターナル・コミュニケーション」(仮) 講 師 : 株式会社ヤッホーブルーイング ヤッホー広め隊(広報ユニット) 渡部翔一氏
【オンライン】 PRプランニング講座	日 時 : 11月上旬開講予定 テーマ : #令和のPR発想術～社会課題の解決をめざすPRプランニングのポイント～(仮) 講 師 : 株式会社マテリアル ブランドプロデュース局 シニアマネージャー 西野夕季子 氏
【オンライン】 グローバル・コミュニケーション講座	日 時 : 11月下旬開講予定 テーマ : 未定 講 師 : 京セラ株式会社 広報室/ダイバーシティ推進室 吉川英里氏
【オンライン】 第233回定例研究会	日 時 : 11月17日(木) 14:00～15:20 テーマ : 未定 講 師 : 読売新聞東京本社 編集局経済部長 小野田徹史氏

# 10月～11月の理事会・委員会・ 部会スケジュール

定例理事会	(10 月度)	日 時	: 10月 13日 (木)	16:00～17:30
			: 霞会館+オンライン	
	(11 月度)	日 時	: 11月 10日 (木)	16:00～17:30
		会 場	: 霞会館+オンライン	
教育委員会	(10 月度)	日 時	: 10月 20日 (木)	13:30～15:00
		会 場	: オンライン開催	
資格委員会	(10 月度)	日 時	: 10月 27日 (木)	14:00～15:30
		会 場	: ハイブリッド開催	
国際・交流委員会	(10 月度)	日 時	: 10月 7日 (金)	16:30～17:30
		会 場	: オンライン開催	
広報委員会	(10 月度)	日 時	: 10月 27日 (木)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	
顕彰委員会	(10 月度)	日 時	: 10月 25日 (火)	15:00～16:00
		会 場	: オンライン開催	
企業部会幹事会	(10 月度)	日 時	: 10月 5日 (水)	17:00～18:00
		会 場	: オンライン開催	
PR業部会幹事会	(10 月度)	日 時	: 10月 18日 (火)	16:00～17:00
		会 場	: オンライン開催	

## やさしさとは何か

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会  
副理事長 伊東 由理

この文章を読んでいる多くの人が、日々ニュースリリースを書いたり、チェックしたりしているのではないだろうか。かくいう私も、毎日数十本近いリリースに目を通す。

取り組みそのものはもちろんだが、それをどのように届けようとしているのか、どんな言葉を使うのか、どんな価値に転換して社会と対話するのか、これらの観点も興味深い。一方で、いささか読みにくい、と感じる文章に出会うこともある。例えば、一文がやたらと長く、要点が何なのかがわかりにくい。修飾語を多用しており、主語と述語が遠い文章も同様だ。

そんなことを考えていた時に、「やさしい日本語」に出会った。「やさしい日本語」とは外国にルーツを持つ人たちにもわかるようにした簡単な日本語である。95年の阪神・淡路大震災の後に、外国の方にもできるだけ早く正しい情報を伝えられるよう考え出され、東日本大震災の時に、意義が再確認されたそうだ。では、ポイントはどんなところにあるのか。

- ・文章は短く、一文で一つの情報提供を心がける。
- ・主語を明確にし、二重否定や曖昧な表現を避ける。
- ・写真やイラストなどを併用する。

上記は一例だが、なるほど、これらは我々がニュースリリースや記事を執筆するときに意識する点と同じである。

実は、この「やさしい日本語」には、日本語をやさしくするためのツールもある。文全体のやさしさをチェックする「やさしにチェッカー」だ。語彙・漢字・硬さ・文法・長さの観点で、その文章がどれほどやさしいのかを面積で示してくれる。

もちろん、すべての場面でやさしい日本語が万能、というわけでもない。語彙を絞り文章を短くするので情報量は限定的になるし、高度で専門的な内容やニュアンスを大事にしたい場合などは、違う形でのアプローチの方がやはり有効だ。

しかし、多くの人にわかりやすく届けたいと考える時には、このチェッカーを使ってみるのも一案かもしれない。

そして、この「やさしい日本語」は、理解しやすいという“易しさ” (easy, plain) と、相手を慮る“優しさ” (gentle, kind, caring) の二つの意味を持つ。多様性を増す現代において、“広く報せる”ことを生業とする我々としては、この意味やスタンスそのものに気づきをもらう部分も多いのではないだろうか。

さて、私もこの文章をチェッカーにかけてみることにしよう。



## 【再掲】「PRアワードグランプリ 2022」エントリー受付中！

10月25日(火)17:00が締め切り(必着)です

### 顕彰委員会

9月1日(木)から「PRアワードグランプリ 2022」のエントリー受付を開始しております。最終受付の締め切りは10月25日(火)17:00(必着)です。皆さまからのエントリーを、心よりお待ちしております。**※早期エントリーでは20件の応募がありました**

#### 「PRアワードグランプリ 2022」応募概要

- <後援> : 経済産業省、日本広報学会、公益社団法人 日本広報協会  
<エントリー案件> : 企業・団体が実施または参加したコミュニケーション活動であり、活動開始時期に関わらず直近1年間に成果があがったもの。  
※現在継続している活動を含む  
※過去にエントリーした案件も、上記条件に当てはまれば再度エントリー可

#### <成果イメージ> :

- コーポレート・レピュテーションの向上
- マーケティング面における貢献
- ソーシャルグッドによる新たな意識・行動の実現
- 日本や世界のパブリックリレーションズの価値向上や新たな手法解決に貢献する活動

<エントリー方法> : 「PRアワードグランプリ 2022」のエントリーフォームに必要事項を入力し、作成した既定のエントリーシートを添付して登録。

#### <エントリー料> :

- 22,000円(税込) / 1エントリー(振込手数料別途)  
※2022年10月1日(土)～10月25日(火)17:00必着

#### <審査について> :

審査員長のもと、9名の審査員で審査団を構成。審査員全員が議論形式の審査会を開催。全エントリーに対し公平かつ厳正な審査を行い、「グランプリ」「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の各賞を決定いたします。なお、顕彰委員会及び審査団の協議により、上記の賞以外の表彰を行う場合もございます。

1. 一次審査(11月11日(金)予定)  
審査団が全エントリーを審査し、上位エントリー(10組程度)を決定いたします。
2. グランプリ審査(12月2日(金)予定)  
一次審査で決定した上位エントリー(10組程度)によるエントリー内容の説明(1組10分程度)と審査員からの質疑応答のセッションを実施し、全てのセッション終了後、「グランプリ」、「ゴールド」、「シルバー」各賞を決定いたします。審査終了後、審査結果をご担当者にメールにてご連絡いたします。

#### <表彰式について>

12月15日(木)、全受賞エントリーに対し表彰式を開催。また、シルバー以上の受賞エントリーについては、一般公開のためプレゼンテーションを行っていただきます。

日時: 2022年12月15日(木)12:30～16:00(予定)

※新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン配信などの形式で公開を検討中

※表彰式の詳細は、11月下旬にご担当者にメールでご案内いたします

#### <ご参考>

その他アワードに関する記事やWebページのご案内は次ページに掲載

◆アワード応募概要

<https://prs.j.or.jp/pr-award/>

◆アドバタイムズ アワード特集記事

◇第1弾

井口理(前審査員長/電通 PR コンサルティング)×本田哲也(今年度審査員長/本田事務所)  
「パブリックリレーションズ」の定義の進化を期待

<https://www.advertimes.com/20220909/article395006/>

◇第2弾

本田哲也(本田事務所)×根本陽平(電通 PRC)×牧志穂(博報堂)  
「巻き込む力がPRのクリエイティビティ 共創の時代のプロジェクトに期待」

<https://www.advertimes.com/20220928/article396627/>

◆過去の受賞事例

<https://prs.j.or.jp/pr-award/list/>

◆協会 SNS でアワード情報も更新中

Twitter : <https://twitter.com/PRSJinfo>

Facebook : <https://www.facebook.com/prsj1>

## パブリックリレーションズ実務講座 2022

## 「PRプランナー2次試験対策講座」を改訂

～2022年4月改訂の「広報・PR実践」に対応～

教育委員会

協会では、PRプランナー2次試験の受験者を主な対象とする「PRプランナー2次試験対策講座」（以下、「2次対策講座」）を2022年4月に改訂されたPRプランナー試験公式テキストの「広報・PR実践」に準拠して改訂し、オンライン講座として9月21日から開講しています（第4章、第12章を除く）。

「PRプランナー2次試験対策講座」は毎年2回実施される「PRプランナー資格認定検定第2次試験」の受験者を対象として、試験範囲の解説を通じて合格に向けたポイントを習得していただく試験対策講座です。

今回の改訂では、2022年4月に改訂された公式テキスト「2022～2023年版 広報・PR実践」に準拠しており、2次試験の対象となる「科目A」～「科目D」の内容をそれぞれの分野に通じた講師が解説を行います。特に、受験準備の難しい「科目D」（時事問題）については、時事問題の傾向とともに試験に活用できる対策を解説しています。

また本講座では、講師が解説する内容について学習しやすいよう「広報・PR実践」における対応ページを講座資料に表示しています。受講者は、広報・PR実践」を熟読して本講座を視聴することにより、専門分野の内容について一層理解を深めることができます。

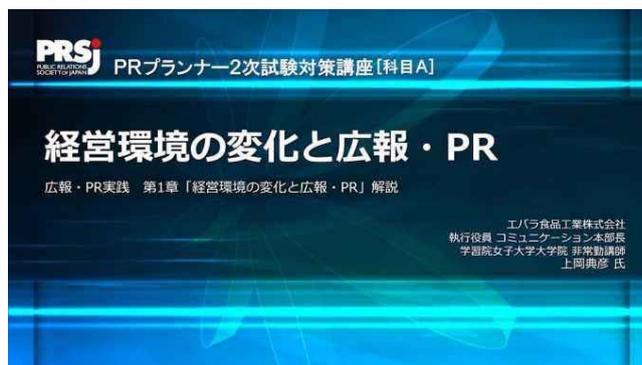
本講座はインターネットを活用したWeb講座（オンデマンド配信）であり、パソコン・スマートフォン・タブレットなどを利用して、時と場所を選ばずご自身の都合にあわせて講座を柔軟に受講し、受験準備を進めることができます。このため日々の予定に追われるご多忙なみなさまも、パソコンやスマホなど手元の通信端末を利用して、都合のよい時間に、また試験対策に必要な内容を理解できるまで、何度でも繰り返し履修することができます。

なお、第4章については、東京証券取引の市場改編などを扱うため本年4月に他講座に先行して改訂作業を終了しています。また、第12章は改訂作業を進めており、作業が完了次第、新コンテンツに差し替える予定です。

本講座は2次試験合格に向けた最短コース。合格をめざす皆様の受講をお待ちします。

講座の詳細ならびにお申込みについては、下記URLの講座ページをご覧ください。また、当協会の会員のみなさまは、会員専用マイページからお申込みいただくことができます。

<https://prs.j.or.jp/event/2nd-2019/>



(事務局 真部)

## パブリックリレーションズ実務講座 2022

## 「パブリックリレーションズ入門Web講座(秋期)」

## 今秋も4コース 10 講座を新任者向けに開講

教育委員会

協会では、秋期から新たにパブリックリレーションズ業務に就く新任者を主な対象とし、業務に不可欠な基本的な知識、スキルを学ぶ「パブリックリレーションズ入門Web講座(秋期)」を、10月下旬にオンライン開講します。

本講座は、「コースA パブリックリレーションズの基本と実際」、「コースB パブリックリレーションズの重要分野」、「コースC メディアリレーションズの基本」、「コースD パブリックリレーションズ実務の基本」の4コース(下表)で構成され、受講者は全コースもしくは必要なコースを選択することが可能です。各コースは最大3つの講座により構成されており、業務に求められる基本的な知識やスキルの習得ができます。講師には、現場で現役として活動しているパブリックリレーションズの実務専門家、弁護士、大手企業マネージャーを迎え、実践的なパブリックリレーションズを学ぶことが可能です。

講座の詳細ならびに受講申込みは、協会Webサイトの本講座の案内ページでご確認ください(10月下旬から公開予定)。

新たにパブリックリレーションに携わる新任のみなさまの受講をお待ちします。

<https://prsj.or.jp/event/practical-course2022-entryclass-fall/>

## ■「パブリックリレーションズ入門Web講座(秋期)」の概要

コース	講座タイトル	講師
コースA パブリックリレーションズの基本と実際	『パブリックリレーションズ』の基本と企業広報の実際(仮題)	エバラ食品工業(株) 上岡典彦氏
	「マーケティング・コミュニケーションの基本」※	(株)資生堂 梶浦砂織氏
	「広報関連法規の基本」※	西村あさひ法律事務所 弁護士 鈴木悠介氏
コースB パブリックリレーションズの重要分野	「SDGsの基本とパブリックリレーションズ」※	日経BP 日経ESG 半澤 智氏
	「危機管理広報の重要性とその基本」※	(株)電通PRコンサルティング 松本 太氏
	「デジタルPRの基本」※	(株)博報堂 肥塚縫伊子氏
コースC メディアリレーションズの基本	「メディアリレーションズの基本」(仮題)※	(株)マテリアル 田代 順氏
	「ニュースメディアの特性とアプローチのポイント」(仮題)	(株)メディアラボ 代表 古田大輔氏
	「新聞社の現在と今後」※	日本経済新聞社 日経産業新聞 松井 健氏
コースD パブリックリレーションズ実務の基本	実践! ニュースリリース 初心者のための基本とノウハウ※	(株)共同通信 PRワイヤー 西林祐美氏

※ 5月に開講した「パブリックリレーションズ入門Web講座(春期)」で公開した講座と同じ内容です。

(事務局 真部)

**会 員 限 定****第 40 回広報ゼミ開催報告****ひとり広報****～価値を理解され、必要とされる広報となるために～****企 業 部 会**

2022年8月18日（木）16：00より、株式会社クラス 広報 小林 美穂氏をお招きし、本ゼミの幹事である PRSJ 理事、リスト株式会社 広報部 次長の田尻 有賀里氏と株式会社ミカサ 管理部ブランディング&コミュニケーションズグループ 主任の皆川 泰子氏をパネリストに迎え、東京・八重洲の近畿大学 東京センターにて、リモート形式での広報ゼミが開催されました。

第40回となる今回は、スタートアップ企業や広報部門を創設したばかりの企業で、広範な広報活動を担い何をどう進めるべきか、悩み迷いながら一人で頑張っておられるいわゆる「ひとり広報」をテーマに開催。通常、企業部会の行事は部会員である協会の正会員の皆さんを対象に開催していますが、今回はまさにひとり広報が多いと推察される個人会員の皆様にも、特別に募集をかけさせていただき、申込者53名、うち個人会員の方が20名と大盛況の会となりました。

## PRSJ in Media

● 9月1日（木） 『月刊広報会議』（宣伝会議）10月号

『月刊広報会議』10月号における当協会の連載コラムで、協会が「PRアワードグランプリ2022」のエントリー募集を9月1日から10月25日まで行うことが掲載されました。

コラムでは、今回はパブリックリレーションズの合意形成力、共感を作る力を発揮した事例が集まり、昨年度を上回る応募が期待されることがまず記載されています。

また、今回行われたエントリーシート改訂のポイント、昨年度のグランプリ事例評価のポイント、今年度の審査体制、表彰式の予定などが紹介されています。

[記事協力：株式会社内外切抜通信社]

■■■■■■■■■■ 協会からのお知らせ ■■■■■■■■■■

PRSJの公式 SNS 更新中です！ぜひご覧ください♪

Twitter : <https://twitter.com/PRSJinfo>

Facebook : <https://www.facebook.com/prsj1>

## ■■■■■■■■■■ 事務局だより ■■■■■■■■■■

普段、なかなか皆様のお目にかかる機会のない“事務局スタッフ”を今号からご紹介させていただきます。ご質問やご意見など、お気軽にご連絡ください。よろしくお願いします。

### ■宮松 秀明（みやまつ ひであき） 事務局次長

皆様、はじめまして、事務局の宮松と申します。当協会には、2007年より実施されたPRプランナー資格認定制度の立ち上げ時から所属し、主に資格事業を担当しています。そのPRプランナー資格認定検定試験も、今年の2月に1次試験合格者が1万人を突破しました。

この場を借りて、これまで資格制度に協力してくださった皆様にお礼を申し上げます。

さて私事ですが、この最近の週末は雨の日が多く、公園で遊ぶことが出来なかったので、子どもとお菓子を作ったり、プラレールの大コースを作ったりして過ごしています。ああ、待ち遠しい週末の晴れ！

### ■武知 秀美（たけち ひでみ）

皆さま、はじめまして。PRプランナー資格制度事務局を担当している武知と申します。

普段は資格を取得された方、受験者、受験を検討されている方とメールやお電話でお話をさせていただいております。受験者の皆さまにとっては”重くてくどい”と思われるかもしれませんが、私の姪っ子甥っ子のように想えてしまい、合格してほしい、ついつい、たくさんの励ましの言葉をかけてしまうこともしばしば。。とくに、お問い合わせの会話の中で育休なんて何うと、その大変さが目に浮かび、姑のように心配をしてしまう、私は大きなお世話オバちゃんでございます。

会員社の社員の皆さまにも、ぜひこの資格を取得していただき、より一層ご活躍されますことを期待いたしております。“重くてくどく”なりますが、オバちゃん、全力で応援させていただきます！！

### ■黒野 木綿（くろの ゆう）

初めまして、今年の7月より協会に勤務することとなった黒野と申します。

事務局では、おもにPRプランナー資格認定制度の試験問題に関わる業務をお手伝いさせていただいております。

パブリックリレーションズについては、現在勉強している途中ですが、試験問題の作問を通し、大学の先生方や企業やPR会社の実務家の皆様のお話を伺っていると、パブリックリレーションズの奥深さに気付かされます。

また、新商品発表会やPRイベント、企業からの発表など、普段のニュースの中にもパブリックリレーションズがたくさん溢れていたことを改めて感じました。それらを、“どういった方法で、いつ、誰に、何を伝え、何を獲得したいのか、そのために何をするのか”を様々な角度から検証し、実施していくのが、PRプランナーの皆様のご活躍だと思えば、私もますます頑張ろうと思いました。

まだまだ未熟者ですが、皆様に負けず、パブリックリレーションズについての知識を吸収していけたらと思っております！

編集担当より

本誌の内容に関するご意見・希望をお寄せください。  
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、  
よろしくお願いたします。

広報委員会

Eメール [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp)

FAX 03-5413-2147

※禁転載